

農学学位プログラム

専門科目（農学学位プログラム）

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|--|--|----|
| OBNK001 | 生物圏資源科学講義I | 6 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | 菅谷 純子, 松倉千昭, 柴 博史, 草野 都, 王 寧, 津田吉晃, プザス ディアナ ミハエラ, ロンバルド ファビエン クロード レノー, 谷 尚樹, 加藤 盛夫, 阿部 淳一, ビーター, 福田直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川誠一, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 木下奈都子, 川田 清和, 野中 聡子, 浅野 眞希, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 松井 哲哉, 作本 亮介, 田端 純, 南川 和則, 藏満 司夢, 高山 真理子 | 人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な生産、利用などに関わる生物圏資源生産学分野、生物圏環境科学分野および森林生態環境学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 | |
| OBNK002 | 生物圏資源科学講義II | 6 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 菅谷 純子, 松倉千昭, 柴 博史, 草野 都, 木下 奈都子, 王 寧, 津田 吉晃, プザス ディアナ ミハエラ, ロンバルド ファビエン クロード レノー, 谷 尚樹, 加藤 盛夫, 阿部 淳一, ビーター, 福田直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川誠一, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 川田清和, 野中 聡子, 浅野 眞希, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 松井 哲哉, 作本 亮介, 田端 純, 南川 和則, 藏満 司夢, 高山 真理子 | 人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な生産、利用などに関わる生物圏資源生産学分野、生物圏環境科学分野および森林生態環境学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義IIにおいては、主として考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関するより具体的な指導を行う。 | |
| OBNK003 | 生物圏資源科学講義III | 6 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | 菅谷 純子, 松倉千昭, 柴 博史, 草野 都, 木下 奈都子, 王 寧, 津田 吉晃, プザス ディアナ ミハエラ, ロンバルド ファビエン クロード レノー, 谷 尚樹, 加藤 盛夫, 阿部 淳一, ビーター, 福田直也, 上條 隆志, 清野 達之, 古川誠一, 山路 恵子, 瀬古澤 由彦, 川田清和, 野中 聡子, 浅野 眞希, 岡根 泉, 浅野 敦之, 康 承源, 藤田 泰成, 吉岡 洋輔, 松井 哲哉, 作本 亮介, 田端 純, 南川 和則, 藏満 司夢, 高山 真理子 | 人類の生存に必要な不可欠な生物資源の生理機能・生態・遺伝的制御の解明とその持続的な利用などに関わる生物圏資源生産学分野および生物圏環境の持続的な制御・管理手法の開発および森林生態環境の持続的保全科学分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講義IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|-------------------|---|-----|---|----|----|--|--|
| OBNK101 | エコリージョン基盤開発学講究I | 6 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | 石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 山下 祐司, 杉本卓也, 宮本 輝仁, 吉本 周平, 源川 拓磨 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK102 | エコリージョン基盤開発学講究II | 6 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 山下 祐司, 杉本卓也, 宮本 輝仁, 吉本 周平, 源川 拓磨 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発するエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK103 | エコリージョン基盤開発学講究III | 6 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | 石井 敦, 小林 幹佳, 奈佐原 顕郎, トファエル アハメド, 山川 陽祐, 山下 祐司, 杉本卓也, 宮本 輝仁, 吉本 周平, 源川 拓磨 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、エコリージョンを回復・保全する地域基盤の開発にかかわるエコリージョン基盤開発学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK111 | 食料・バイオマス科学講究I | 6 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | 江前 敏晴, ネヴェス マルコス アントニオ, 北村 豊, 中川 明子, 梶山 幹夫, 小幡谷 英一, 山田 竜彦, 小杉 昭彦, 真野 潤一 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK112 | 食料・バイオマス科学講究II | 6 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 江前 敏晴, ネヴェス マルコス アントニオ, 北村 豊, 中川 明子, 梶山 幹夫, 小幡谷 英一, 山田 竜彦, 小杉 昭彦, 真野 潤一 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的な指導を行う。講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |

| | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-----|---|----|----|--|---|
| OBNK113 | 食料・バイオマス科学講究III | 6 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | 江前 敏晴, ネヴェスマルコス アン トニオ, 北村 豊, 中川 明子, 梶山 幹夫, 小幡谷 英 一, 山田 竜彦, 小 杉 昭彦, 真野 潤 一 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、開発された地域基盤の上に食資源及びバイオマス資源を利用するための適正技術を開発する食料・バイオマス科学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK121 | 地域システム経済学講究I | 6 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | 興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和, 飯山 みゆき, 石崎 涼子, 澤田 守 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK122 | 地域システム経済学講究II | 6 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和, 飯山 みゆき, 石崎 涼子, 澤田 守 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |
| OBNK123 | 地域システム経済学講究III | 6 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | 興梠 克久, 首藤 久人, 氏家 清和, 飯山 みゆき, 石崎 涼子, 澤田 守 | 生態循環系、資源循環系、経済循環系の整合的調和の上にエコリージョンが形成されるというコンセプトのもと、人類社会の持続的発展に貢献する高度な専門的・総合的能力を有する人材を養成することを目標として、適正技術の開発可能性およびその社会化を評価する地域システム経済学に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 |

NARO連係先端農業技術科学

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------------|------|-----|--------|------|-----|--|--|---------------------------------|
| OBNK201 | 先端農業技術科学講究I | 6 | 1.0 | 1 | 通年 | 応談 | 田中 淳一, 田中 剛, 光永 貴之, 深 津 時広, 杉浦 綾, 佐々木 啓介, 立木 美保, 小野崎 隆, 渋谷 健市, 木村 俊之, 田中 大介, 遠野 雅徳, 田口 和憲, 松井 勝弘, 國久 美由紀, 高橋 徳 | 先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源の作出と利用、農業科学と情報科学を融合するフィールドインフォマティクス、生産・管理システム、家畜生産機能制御の各研究分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究Iにおいては、主として研究の進め方、まとめ方および学会発表の方法を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 | NARO連係先端農業技術科学サブプログラムに在籍する学生に限る |

| | | | | | | | | | |
|---------|---------------|---|-----|---|----|----|---|--|---------------------------------|
| OBNK202 | 先端農業技術科学講究II | 6 | 1.0 | 2 | 通年 | 応談 | 田中 淳一, 田中剛, 光永 貴之, 深津 時広, 杉浦 綾, 佐々木 啓介, 立木美保, 小野崎 隆, 渋谷 健市, 木村俊之, 田中 大介, 遠野 雅徳, 田口和憲, 松井 勝弘, 國久 美由紀, 高橋 徳 | 先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源の作出と利用、農業科学と情報科学を融合するフィールドインフオマテイクス、生産・管理システム、家畜生産機能制御の各研究分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIにおいては、主として、考察および討論の深化の手法、それを反映した研究計画の修正等の方法論を中心に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 | NARO連係先端農業技術科学サブプログラムに在籍する学生に限る |
| OBNK203 | 先端農業技術科学講究III | 6 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | 田中 淳一, 田中剛, 光永 貴之, 深津 時広, 杉浦 綾, 佐々木 啓介, 立木美保, 小野崎 隆, 渋谷 健市, 木村俊之, 田中 大介, 遠野 雅徳, 田口和憲, 松井 勝弘, 國久 美由紀, 高橋 徳 | 先端農業技術科学、とくに新機能や環境調和型農業に適合する作物、果樹、花きの新遺伝資源の作出と利用、農業科学と情報科学を融合するフィールドインフオマテイクス、生産・管理システム、家畜生産機能制御の各研究分野に関する学術論文等を通して既存研究の内容を理解して専門知識を広め、研究動向を把握できるように指導する。さらに、実験の進め方、得られた結果のまとめ方、結果に基づく考察・討論の進め方、英語の原著論文および学位論文の作成方法について具体的指導を行う。 講究IIIにおいては、主として英語原著論文及び学位論文の作成方法について具体的に指導する。研究倫理に関する理解を深める。 | NARO連係先端農業技術科学サブプログラムに在籍する学生に限る |